

平成 28 年度北海道創生プラットフォーム 登録プロジェクト一覧

(第 1 次プロジェクト) マッチングに向けて取り組んだ事業

市町村名	プロジェクト名	概要
下川町	産業クラスター推進による地域創造	産業クラスター推進のコーディネーターとして、事業化につながるアイデア発掘から研究開発、地域産品の開発支援と販売促進、地域活性化に関する調査・研究など総合的な支援業務を行います。
名寄市	スポーツコミッションによるビジネス展開	なよろスポーツコミッション（仮称）を設立し、冬季ジュニアアスリートの育成、ホストタウン構想を推進した合宿誘致にも取り組みながら、関係機関と連携し、ピヤシリスキー場、ピヤシリシャイツェ、クロスカントリーコース、カーリングホール等の既存施設を生かした「冬季スポーツの拠点化」を目指している。
白糠町	5歳児から高等学校まで一貫した教育改革を行い、日本中から子どもが集う町	5歳児からの特別な教育を導入し、幼児教育と義務教育との円滑な接続と一貫教育により質の高い教育を提供する。同時に、高校までの一貫教育を視野に入れ、このプロジェクトを支える公営塾の創設も含め、白糠高校が選ばれる高校になるような取組を進め、魅力ある特徴的な教育づくりを進める。
当別町	地域農産物を素材に消費者ニーズにあった商品開発	地域農業による「稼ぐ力」を高めることを目的に地域商社の設立を検討している。第 1 段階として、「道の駅」を開設し、消費者のニーズ把握と商品開発に取組始めたところ。第 2 段階では、東京圏消費者のニーズ把握から商品開発、販路拡大を目指す。
江別市	駅周辺市有地を民間活用することにより中心市街地を活性化	JR 野幌駅周辺の市有地（市民交流施設用地及び市営駐車場跡地）において、「にぎわいの都心づくり」を具現化するために、民間の企画力や資金力などを活用した土地利用を誘導し施設配置を行う。
小清水町	日本有数の大規模畑作地域の強みを活かし、障がい者就労の場をつくる	多様な農業の担い手確保に取り組む「小清水町農業担い手育成プロジェクト」の柱の一つに「農福連携部門」が位置付けられており、障がい者の就労の場づくりと農業の労働力不足の解消を目指す体制づくりに取り組む。

(第 2 次プロジェクト) マッチングに向けて次年度以降に参加を検討している事業

市町村名	プロジェクト名	概要
夕張市	「活動人口」と「関わり人口」を繋ぐ地域交流プラットフォームの構築	「夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略」において、「新たな人の流れ・交流人口の創出」を図っていくことを明記しており、地域における交流人口の拡大に資する取り組みが既に芽生えており、市としても、交流人口を増やす取り組みを加速させたいと考えている。
美唄市	DMOの運営	観光の地域への経済波及効果を図るため、DMOを設置し、滞在型観光への転換を進める。
芦別市	観光地域づくりの推進	観光地域づくりの中心となる組織※の設立に向けて、関係機関の合意形成に向けた取組やマーケティングに基づく戦略策定、観光コンテンツの発掘・磨き上げ等、魅力ある地域づくりを目指す。 ※日本版DMO又は観光協会の法人化
富良野市	ふらの版DMC	ふらの版DMC（カンパニー）の設置を目的に、優秀なマーケティング&マネジメント人材の育成確保を検討中
石狩市	「道の駅」運営のための専門人材の活用	平成 30 年にオープン予定である厚田の「道の駅」における店舗運営、販売接客、人材育成のほか、地域と連携してイベントの企画や旅行商品開発などを行い地域の活性化を図る。
知内町	観光地域づくり戦略推進事業	観光地域づくりの舵取りを担う組織（DMO）を設立し、多様な関係者と協同しながら観光地域づくりを推進し観光振興を図る。
ニセコ町	ニセコ町観光DMOの構築・運営	DMOの構築・運営を介して観光業に対する投資や、生み出される資金をできるだけ地域に還元し、より地域に根ざした観光業の構築及び地域活性化につながる事業を実施する。
ニセコ町	自治創生総合戦略の推進	平成 28 年 3 月に定めた企画環境課（又は商工観光課）の役場内調整機能を強化し、「ニセコ町自治創生総合戦略」を実行する。 具体的施策を実行するため、コーディネーター的な役割を担う人材を配置し、町民・関係機関・役場各課の連携の下に各種施策を進める。
仁木町	若年層職員を対象とした研修（自己啓発セミナー）のマネジメント及びコーディネーター	20～30 歳代の若年層の町職員を対象とした育成機関を設立する見込みである。
北竜町	ひまわり再生プロジェクト	昭和 55 年から産業と観光の連携によるひまわりへの取組みは、平成 15 年ひまわり油の製造を中止したことから観光のみの取組みとなった。今年北竜町の地域資源と日清オイリオグループ（株）の智恵と技術が提携し、新たなまちづくりがスタートする事となった。
占冠村	「狩猟的価値」発現による林業六次産業化の推進	林業再生に精通した道外事業者が参画する地域商社を設立し、林業に関する知識・技術に加えマーケティング等のビジネススキルを持った中核人材の育成や銘木のデータベース化、マーケティングリサーチ、銘木命名権等の資金獲得のためのファンづくり等に取り組む、良質で安定的な雇用の創出を目指す。

剣淵町	剣淵町観光DMOの運営	(株)レークサイド桜岡(第三セクター)が中心となり、温泉保養施設や道の駅、アルパカ牧場、絵本の館などの多様な観光資源を結び付け、体験型観光の確立並びに外国人観光客の誘客に重点を置き、近隣市町と連携して、広域で滞在時間を長くする取組みを実施する。
枝幸町	オホーツク枝幸DMO	基幹産業の水産業・酪農業と連携した産業観光システムを構築し、顧客となる観光訪問客との交流から、購買ニーズや体験型ツアーの商品化など、圏域外に地域資源・特産品の「えさし」ファンを作り出し、地域企業の販路開拓に繋げる。オホーツク枝幸DMOが舵取りの役割を果たすことで、新たな生業観光分野での「しごと」が活性化し、雇用の安定・所得の確保、若者の定住促進に繋がる。
小清水町	小清水町農業担い手育成プロジェクト(農福連携部門)	多様な農業の担い手確保に取り組む「小清水町農業担い手育成プロジェクト」の柱の一つに「農福連携部門」が位置付けられており、障がい者の就労の場づくりと農業の労働力不足の解消を目指す体制づくりに取り組む。
白老町	白老版DMOまちづくり会社の設立・運営	2020年の「民族共生象徴空間」開設に伴う交流人口の更なる増に対応する地域活性化をはじめとした諸課題に対応するため、教育旅行客・外国人個人旅行者等をターゲットとした滞在型観光の確立による地域経済への波及を見据え、平成28年度から「白老型DMOまちづくり会社」の設立に向け調査検討に取り組んでいる。
更別村	十勝さらべつ熱中小学校事業	熱中小学校事業を展開し、人材の確保と育成を目指す。また、旧北海道開発局跡地を利活用し、宿泊施設、食堂、町家(マルシェ、カフェ、情報発信施設、アクアポニックス)を整備する。
本別町	誘客、交流人口の拡大を目指した観光地域づくり	現在整備が進められている北海道横断自動車道の釧路圏(本別町～釧路圏)・オホーツク圏(陸別町～北見圏)への開通を見据えて、十勝東北エリア3町(本別町・足寄町・陸別町)が連携して、これまで道東観光周遊のための通過型駅であった「道の駅」機能を改革・活用し、圏域DMOを立ち上げ、観光圏域づくりを進める。